

- 1 令和8年7月18日（金曜日）午前10時00分から正午
- 2 マイドームおおさか 4階 研修室
- 3 議事

(1) 令和6年度 事業実績の評価について【審議事項】

<経営相談支援事業>

（評価委員）

- 経営相談支援事業のアンケートの項目や測り方については、改善の余地があるのではないかと。特に、経営指導員の対応力に関する項目は、差が付きにくい測り方になっているのではないかと。いわゆる、天井効果がアンケート結果から見て取れる。
- また、経営指導員の対応力と経営相談の効果の評価結果が一致していない団体もあるため、そういった部分も今後分析を深めていければ良いと考えている。

（評価委員）

- アンケートの内容に事業効果を問う部分があるが、経営相談を利用した相談者からすると、事業効果を感じられるまでにはタイムラグが生じる場合もある。つまり、経営指導員の対応に満足しているが、売上が上がる等の効果を感じられるまでには時間がかかるため経営相談の効果に関する回答結果が悪くなるという背景もあるのではないかと。

（事務局）

- 委員からいただいたご意見を踏まえ、今後アンケートの WEB 化による実施方法の変更と併せて必要に応じ検討を行う。

<地域活性化事業>

（評価委員）

- 地域活性化事業については、主観的な評価ではなく、実績に応じた評価方法になっている。
- 評価が得やすい事業に偏るのではなく、新しい事業や団体として必要と考える事業に取り組まれない。

（事務局）

- 例年、12月に次年度の事業計画作成に関する説明会も実施しているので、このような場も活用しながら、各団体に意識して事業内容の見直しを図るよう促してまいらる。

(1) 事業変更計画の承認について【報告事項】

- 特に意見なし。

(2) 事務の共同処理に係る事業の進捗状況について【報告事項】

（評価委員）

- 実施スケジュールについては予定どおりか。

（事務局）

- 幹事である大阪府商工会連合会からは、予定どおりと伺っている。府の方でも進捗を確認しながら進めているところである。

（評価委員）

- 外部システムとの連携の部分は、今年度中に実施できそうか。

(事務局)

- 今回利用する Google Workspace は、外部システムとの連携は比較的容易なシステムである。将来的には外部システムとの連携も視野に入れているが、今年度はまず共通カルテシステムの作成をメインとしており、外部人材を活用した経営課題解決促進事業との連携は今年度中は難しいようである。

(3) 利用者満足度調査の WEB 化検討について【報告事項】

(評価委員)

- 時代の流れとして、WEB 化は必然的な流れである。ただし、紙での対応が必要になる事業者もいるだろうから、そこは対応できるように考慮されたい。

(事務局)

- WEB での回答が難しいという事業者に対しては、紙での対応も含め検討する。

(評価委員)

- アンケートを実施するとスマートフォンからの回答が多数である。インターフェイスとしては、スマートフォンが一般化している。どのような回答方法が良いのかについても考える必要がある。
- また、回収率については、どのように確保していくかを検討する必要がある。経営相談を実施する際に、各経営指導員の方から回答をするようにお声かけいただくことも回収率を担保するための一つかと考える。

(事務局)

- 委員からのご意見も踏まえ、回答のしやすさや個人情報の問題等、総合的にどのようにしていくのが良いか検討してまいりたい。

(4) 令和7年度 大阪府小規模事業者等支援施策評価審議会スケジュール【報告事項】

- 特に意見なし。

閉会